

# 愛隣館研修センターニュース 第55号

〒 612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail : Dayservicecenter.Airin@ma2.seikyounet.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義

## 断固反対!

### 「心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律(案)」

### 法案成立絶対阻止!

5・26緊急抗議集会報告

去る5月26日(日)午後2時～4時、日本基督教団洛陽教会にて、「心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律(案)」(以下、医療観察法案)に反対し、医療観察法案を絶対阻止すべく、緊急抗議集会が行われました。

この医療観察法案は、「重大犯罪」を犯した精神障がい者を、「再犯のおそれ」があることを理由に、裁判官と精神科医の判断で、期限を設けることなく指定入院医療施設に入院させることを可能にしています。このような悪法が成立すれば、今まで以上に精神障がい者に対する人権侵害・差別が増長されることは火を見るより明らかです。

当日は、約80名ほどの方々が集まって下さり、弁護士・精神科医・当事者の方それぞれの立場からの発言を受けた後、集会趣旨に賛同する各団体より力強いアピールを受け、「差別と闘うシンガーソングライター」鳥井新平さんの熱い歌声に励まされ、集会参加者一同、全会一致で集会決議(別掲)を採択しました。

集会後、京都地裁まで、我々の揺るぎない決意を広く市民に呼びかけるため、整然と抗議デモを敢行いたしました。

今国会での成立が危ぶまれる状況ですが、今後も全国の法案阻止を求めて闘う仲間と共に、法案廃止を勝ち取るまで、様々な形で声を上げ、アクションを展開していかねばならないと感じています。皆さんも是非、この輪の中に加わって下さい。(記：恵)

集会の様子↓



#### 集会決議

3月18日「心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律(案)」が今国会に上程されました。この法案の目的は、「心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者」の再犯の予防とされています。なぜ、精神障がい者を対象として、再犯の予防を目的とした法律を作らねばならないのでしょうか。そこには、政府主導の精神障がい者に対する人権侵害・差別を推進しようとする意図が明瞭であり、断じて許すことはできず、非常な憤りを覚えます。

第一に、この法案の前提として、「再犯の予測が可能である」としていますが、刑法犯やいかなる犯罪においても再犯事例は多く存在します。司法従事者は、再犯予測を目的にする限り、本人の治療より、社会防衛的な隔離拘禁が主要件となり、結果的には、指定入院医療施設での人権を無視した無期限の拘禁が行われるでしょう。

第二に、この法案の対象行為が、放火、強制わいせつ、強姦、殺人、強盗及びその未遂行為であるとし、非常に広範囲の者を対象にしています。処遇決定の過程においても、十分な弁護が補償されておらず、冤罪も含めた人権侵害が多発することが予想されます。

これまでも精神障がい者がどれほど長く精神病院に隔離・管理されてきたことでしょうか。どれほど多くの精神障がい者が院内で命と人権を奪われてきたことでしょうか。私たちはその一人一人の命と悲惨な歴史を忘れません。

法案成立により、私たちが京都の地において、長年にわたって続けてきた「地域で共に生きる」実践が途方もなく後退することを許してはなりません。私たちは、地域で生きる精神障がい者の命を奪おうとする何者に対しても共に闘い続けます。

私たち集会参加者一同は、政府に対しこの法案が精神障がい者の人権を蹂躪し、侵害する以外の何者でもないとして強く抗議すると同時に廃案を要求します。

2002年5月26日緊急抗議集会参加者一同

初夏のお出かけ  
特集

滋賀農業公園  
ブルーメの丘  
Stumen Hügel

に行ってまいりました!!

「久しぶりの雨なしでした!」

去る5月22日(水)に、滋賀県日野町にあるドイツ風農業公園『ブルーメの丘』へ初夏のお出かけに行ってきました。総勢46名という大人数の参加でしたので、現地では4グループに分かれ、それぞれグループの気の向くまま、好きなように楽しんでいただきました。(なので、グループから離れ単独行動していた人もいたようですが…)

今回の企画報告では、そんな利用者さん達の生の感想を載せてみたいと思います。

まずは、車いす生活15年の赤保さんから感想を聞いてみたいと思います。

イゲ：赤保さん、今回のお出かけの感想をお聞かせ下さい。

赤保：いやあー、5年前に行ったときと、もっと変わっていると思っていたけど、あまり様変わりしてなかったなあ。でも、地ビールとスペアリブはなかなか美味しかったでえ。おみやげに買った手作りソーセージをご近所さんにお裾分けしたら、えらい喜んでもらったわ。

イゲ：きれいなお花が咲いていましたが、見られましたか。

赤保：花?花なんか家の裏にも咲いとるわなあ、ワハハハ!!!

イゲ：さすが、赤保さんらしい豪快な感想ありがとうございます。

写真右から→

藤田さん

赤保さん

林川さん(白ハット)



次に、足のつま先で字を書きコミュニケーションをとる車いすの女性、澤田さんに感想を聞いてみます。

イゲ：初めてポニーに乗られたそうですが、ポニーの感触はいかがでしたか。

澤田：柔らかい感じがして、気持ち良かった。(一緒に付いてくれたスタッフさんのおかげで)怖いこともなかったわ。

イゲ：ご家族には、澤田さんがポニーに乗ったことを信じてもらっていなかったという話を聞いたのですが、今でも信じてもらってないのですか。

澤田：はい、いまだに信じてもらっていません(笑)。

イゲ：そうなんです。澤田さんのご家族の方、澤田さんは本当にポニーに乗ったんですよ。一緒に付いていた私が言うのですから間違いありません(笑)。

↓羊追い込みショーも堪能しましたヨ



馬といえば社会人一年生、柳本君もポニーにチャレンジされていたので感想を伺いましょう!

イゲ：馬に乗った感想は しっかり乗ってます!  
いかがでしたか?

柳本：ギョッ!!! タヨ!!!

小中：ボクは羊に!

福田：ボクは…?

↓羊に乗るって!?



↑寝てます(一瞬だけヨ)

最後に、60数年間身体障がい者をしていらっしやる、身障大ベテランのお二人藤田さんと林川さんに感想を聞いてみましょう。

イゲ：センターニュースに、『ブルーメの丘』に行った利用者さんの感想を載せたいので、一つ感想をお聞かせ下さい。

林川：前に行ったときより(人が少なく)寂しく感じたね。

藤田：でも、花は充実していたなあ。ちょうどきれいに咲いていたし。

動物もあんじょう増えて。ドイツ民謡も見られて、その民謡をしていたドイツ人(?)と気軽にあいさつできて良かったわ。

林川：おみやげにヨーグルトを買いすぎて、後で食べるのに苦労したわ(笑)。

藤田：たまにあーゆう広いところに行くのは気持ちよかったわあ。

それにしても、石畳というのは車いすのモンにとってはガタガタしてつらいなあ。

林川：おいど(関西弁でお尻のこと)がしんどかったわ。

なるほど。普段歩いている人には気付けない、石畳が車いすに乗っている人にとってつらい面があること、という貴重な意見を教えてもらいました。ありがとうございました。

こんな感じの石畳でした

報告1(清水君)↓

↓報告2(柏木さん)



その他にも、馬にあげる人参を鞆の中いっぱいに入れてきた方の話、トイレが長引き帰りの車に乗り遅れそうになった方の話など、もっと沢山の楽しかった話がありますが、このくらいで今回の企画報告を終わりにしたいと思います。

今後も、このような利用者さんの生の声を載せていけたらいいなあと思っております。(報告：井桁)



# 2002年 夏期献金のお願い

—これからの“地域”を見据えて—

当センターが、この向島の地に誕生して  
から、早くも23年が経過しようとしていま  
す。今日まで、皆様方のご理解とご支援に  
よって支えられ、活動を続けることが出来  
ましたことを、心より感謝します。

これまでも、この（地域）の中で「障が  
い」を持つ方、お年寄りや子どもたちが安  
心して暮らしていくための手助けとなれる  
よう、色々な人々と様々な活動に取り組ん  
でまいりました。その中から具体的なひと  
つの事業として、身体「障がい」者デイサ  
ービス事業を展開することが出来るよう  
になりました。

そして、それらの活動ひとつひとつを通  
して、またその中での様々な出会いから、生  
（地域）というものをキーワードにした生  
活支援システム「向島障がい者地域生活支  
援センター『遊隣』」を立ちあげること  
になりました。活動を始めて3年ですが、地  
域の障がい児・者の『遊隣』に対する期待  
の大きさをひしひしと感じております。そ  
の期待にこたえるためには皆様方さらなる  
ご理解とご支援が必要不可欠なものとな  
てきます。

これまでも皆様方には多額の献金をして  
頂いているにもかかわらず、新たなお願い  
をさせて頂くのは、誠に恐縮ですが、ご理  
解くださり、ご協力をよろしくお願いしま  
す。

## 《夏期献金・要項》

### 目的

障がい児・者とその家族とが地域で安心して暮らして  
いくことができるために、向島障がい者地域生活支援  
センター『遊隣』の活動を支援する

### 夏期献金 目標金額

1,000,000円 ※ 口数、金額ともに任意です。

### 送金方法

※ 以下の口座をご利用ください。

### 郵便振替

01020-5-39321

口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

### ☆お知らせ☆

▽愛隣館研修センターは、  
八月一日～一五日まで夏  
期休館日とさせていただきます。  
ます。

☆向島障がい者地域生活支  
援センター『遊隣』では、  
夏休みのボランティアスタ  
ッフを募集しております。  
障がいという豊かな個性を  
持つ人達と素敵な夏を過ご  
しませんか

問い合わせはセンターま  
で！

### ★編集後記★

▼バイカー泣かせの梅雨  
がきました▼降るならどか  
つと！と思うのですが▼今  
号から記名式になりました  
▼個人への感想もお待ちし  
ています！（さ）▼ワール  
ドカップが終わりました▼  
燃え尽きました▼残ったも  
のは、疲れとたくさんの方  
のピ  
デオ▼偏狭なナシヨナリス  
ムが残ることは心配です

